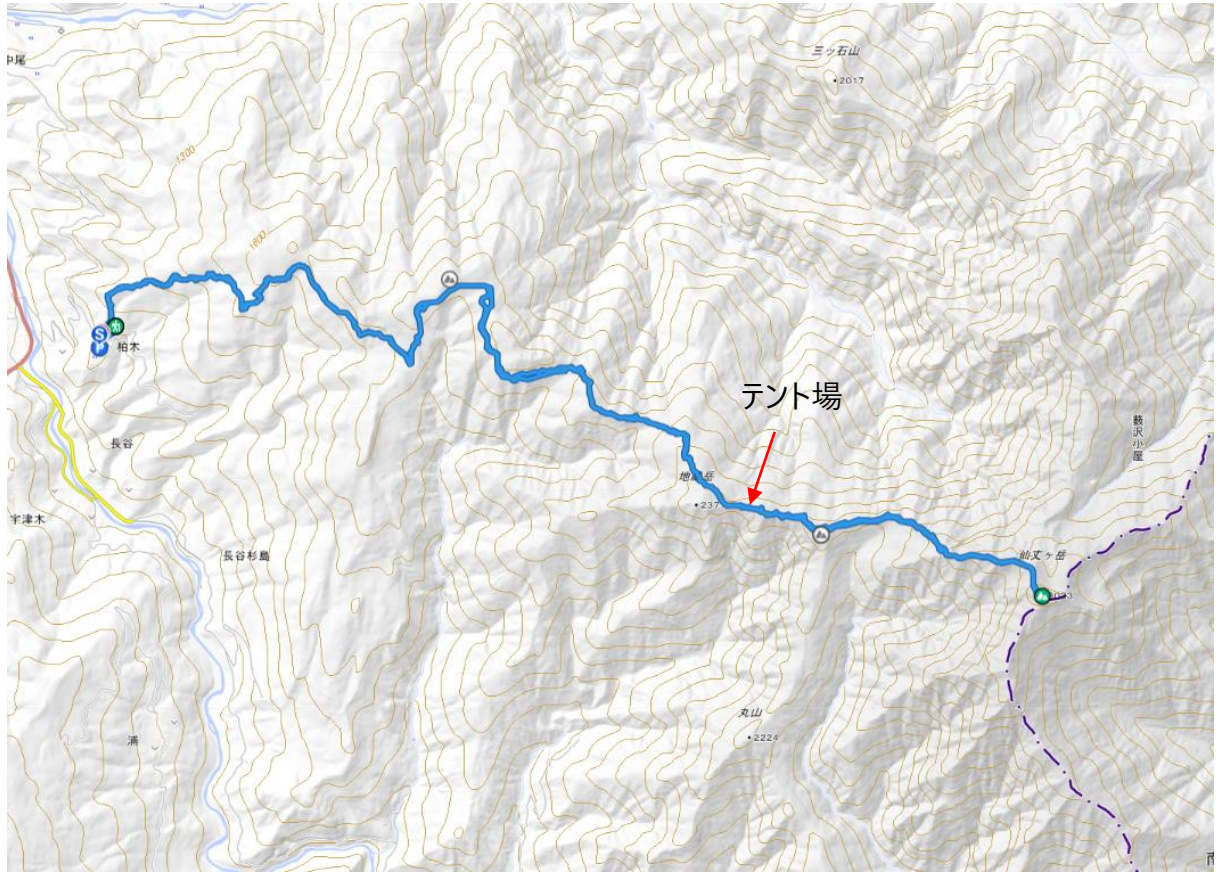


25年度 冬山合宿山行報告書			報告者	佐々木	参加メンバー	CL 谷口 鈴木よ、館谷、田中、貴船、本多、佐々木
			報告日	25/1/8		
山域	南アルプス	山行日	25/12/27(土)~25/12/28(日)			
山名	仙丈ヶ岳					
山行目的	部員のレベルアップ、相互親睦					

配布先
集会：12
山行：1
リーダー
原紙：集会担当者

ルート図



〈山行報告〉

< 第1日 > 12/27 (土) 晴れ【佐々木 記】

【行動記録】 行動時間: 6H30M

デンソー本社(03:30)→柏木登山口(07:00)→地藏岳先テント場(13:30)

6:30に柏木登山口に到着。駐車場までの道路では雪はほとんどなく、駐車場においても薄っすらと積もっている程度であったため、わかんは置いていくことに。個々の装備の重さを量ってみると20kg弱のメンバーもあり、冬山テント泊の洗礼を受け早くも絶望する。

7:00に登山開始。序盤は緩やかな傾斜の樹林帯を、ところどころで林道や平地を挟みながら歩く。雪が少なくトレースもあるため歩きやすい...はずだが、重い荷物のせいで急速に疲労が蓄積していく。松峰小屋手前からは傾斜が急になりひたすら登りが続く。佐々木は何度も足がすりながら、どうにか

確認
(リーダー)



作成
(報告者)



山行報告 (続き)

松峰小屋との分岐までたどり着いた。安堵したのも束の間、目標とするテント場はさらに先とのこと。気力を振り絞りさらに登る。雪が少ないためむき出しになった石や凍った地面のせいで滑る。どうにかこうにかテント場まで到着すると、そこは周囲の山々が見渡せる特等席であった。テント設営後、外で景色を見ながらしばし休憩。日差しが温かく風もないためテント外であっても寒くなかった。

夕飯は本多さんのキムチ鍋と胡麻坦々鍋。メには餅を投入し、これが大変美味しく、貴船さんは3個も食べていた！

19時半頃、明日のアタックに備えてやや斜めな地面の上で就寝。



駐車場にて



序盤の樹林帯



テント場に到着



テント場からの景色



特等席にて休憩



夕飯の鍋を囲む

山行報告 (続き)

< 第2日 > 12/28(日) 晴れ【田中 記】

【行動記録】行動時間：10H20M

起床(4:30)－テン場出発(6:00)－仙丈ヶ岳(9:15)－テン場(11:30)－柏木登山口(16:00)

4:30過ぎに起床。整地が上手くできてなかったことと鯨詰め状態であったため、よく寝られなかった。朝食をとった後、アイゼンを装着するなど身支度を済ませ、6:00に出発。しばらく樹林帯が続く。時折見える中央アルプスが朝日に当たりとても美しかった。

途中、森林限界間際のところが吹き溜まりになっており雪がかなりあったため、体力オバケな我がCLは案の定ラッセルで直登していた。(貴船さんは負けじと真似してラッセルしてしまい爆死。ここでバテて以降ペースが落ちてしまった。) 高木が無くなるようやくゴールの山頂が見えた。雲一つない空で、真っ白な仙丈ヶ岳が神々しく見えた。が、まだまだ遠いのでげんなり。仕方ないから歩くが空気が薄いのと前日の疲れからか少し足が重い。するとどこからかゲージと鳴き声が聴こえてくる。岩場の方に目を向けるとそこにはライチョウが。皆立ち止まり撮影会が始まった。田中は南アルプスで初めてライチョウを見たのでかなり嬉しかった。



ラッセルする谷口CL



仙丈ヶ岳 まだまだ遠い



冬の装いのライチョウ
Photo by 館谷さん

だんだんと疲れが見え始めるが、励まし合いながら登っていく。9:15頃、山頂に到着。真冬の3000m峰にメンバー全員が登頂できた。皆でグータッチをし登頂の喜びを分かち合う。天気も良いので10分程度休憩し、300名山チャレンジの写真を撮った後に下山開始。



稜線を歩く



山頂目前



皆で山頂写真

テン場に到着し、テントを撤収。下界に向けて歩き出す。この下山路が大変曲者で平行移動が多いわ、距離は長いわ、ちょっと登ったりするわでかなりこたえた。下山した後の風呂と揚げ物をモチベーションに頑張ってお風呂を歩く。最後は少しペースアップし、16:00頃下山完了。無事帰ってこれで安堵する。待望のお風呂と下山メシを撮取した後、帰路についた。

【食料】本多

■1日目 鍋2種類 キムチ鍋&ゴマ坦々鍋

材料 豚コマ 1kg、鶏モモ肉 1kg、鍋用野菜パック 2袋、マロニー、餅21個(3個/人)

■2日目 マーボー春雨丼、味噌汁(予定)

材料 アルファ米、マーボー春雨、フリーズドライ味噌汁

■所見

肉は冷凍していったが料理する時までカチカチのまま。生+車中だけ保冷剤で十分だった。

餅は重かったが好評だったのでヨシとしてください。

1泊2日で下山となる可能性も考慮して2日目の食材は保存が効くものにしました。

アルファ米は下山後に分配しました。

大人数山行の食担は20年ぶりくらい？だったのですが、最近は色々便利なものがあったて楽をさせてもらいました。

【装備】館谷

■共同装備

V8テントx1, ストーブx2, ガス缶L x2, コッヘル1セット(3つ)、雪袋x1、他

■所見

・地蔵尾根はいくつか広い幕営地があるため、大型のV8テントとした。今回は地蔵岳の隣の名無しピークに張ることができた。

・7名と人数が多いため、水作り用にコッヘルは4つある方が良かった。

・薄くコンパクトな雪袋を使ったが、すぐに破れたのである程度の厚みが必要。

【会計】

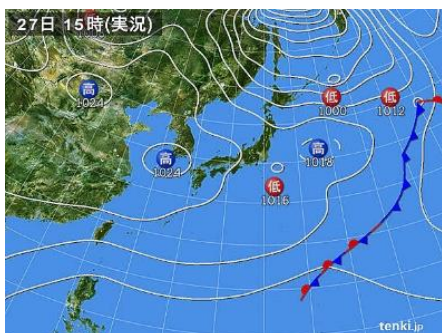
・交通費：28,717円

・食費：6,266円

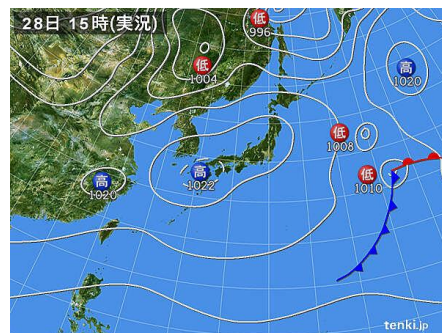
【気象】

前週は山間部でも雨が降る暖かさだったが、12/25~26にかけて寒気が入り積雪があったとみられる。

12/27からは高気圧が発達し、山頂にアタックした12/28は風も少ない穏やかな一日だった。



27日



28日

メンバ所見

■CL 谷口

今年は「厳冬期の3000m峰」というテーマで仙丈ヶ岳を選んだところ、ベテランから新人まで計7名という大人数で合宿を実施することができました。重い荷物を担いで長い尾根を歩くことで普段の山行とは異なる課題を各自が確認でき、学びの多い山行になったことと思います。上部には十分な積雪があり楽しむことができたほか、2日間を通して天候に恵まれ最高の合宿でした。同行メンバーならびにサポートしていただいた皆様ありがとうございました。これからもステップアップしていき、色んな雪山に挑戦していきましょう。

■鈴木よ

数年ぶりの冬合宿ということでも楽しみにしていました。天候に恵まれ山頂が見えてからの稜線歩きは、大変気持ち良かった。SLという面では先行パーティーのトレースに助けられました。最年長と言うことで装備重量を軽くしてもらって大変助かりました。登りは黙々と登っていたので気づかなかったのですが下りで長いハイクだったことに気づいた。山頂での360°の眺望は、価値のあるものでした。26年で現役を引退しますが、まだまだ登る気満々なので誘って欲しいと思っています。

■館谷

今年も冬山合宿に参加させてもらいました。初日の移動中、小黒川サービスエリアであまりの寒さに本当に登れるのか不安になりましたが、楽しいメンバーと完遂することができました。地蔵尾根は累積標高もさることながら水平移動が非常に長く、大変登り(下り?)ごたえのある山でした。同行メンバーおよび留守部員の方々ありがとうございました。

■貴船

初めて雪山合宿に参加させてもらい、かつ厳冬期3000m級の雪山に登頂することができました。ただ2日目、稜線付近の雪にテンション上がりはしゃいでしまった結果、体力切れとなり、以降の進行に迷惑をかけてしまい、すみませんでした。今後も雪山登山を楽しむ為にも、技術・体力の向上に努めたいと思いました。同行メンバー、およびサポートいただいた方、ありがとうございました。

■本多

皆さん強く体力があるので新入部員としてはついて行くのに必死でした。雪は少なかったですが、森林限界からは快適な雪稜歩きでしたし、下りのルンゼ直下降も楽しめました。雲一つない快晴微風の最高のコンディションを経験してしまい、この先の冬山で悪天に簡単に心を折られそうで不安です...

■田中

12月初旬に腰を打撲し、しばらく歩くのも辛い状態でしたが、何とか冬合宿前には治り参加することができました。(下山後、腫れていましたが。。。) 晴れてて風も穏やかな素晴らしい天気に登れたこと、皆で無事に山頂に立ったこと、鍋がおいしかったこと、傾いている地面で鯨詰めになって寝たこと、下山が長くて苦痛だったこと、すべていい思い出(?)になりました。同行メンバー並びに企画して頂いた谷口CL、ありがとうございました。

■佐々木

初日でグロッキーとなってしまいましたが、皆さんのサポートのおかげで登頂できました。今回の合宿でまだまだ実力不足であると思い知らされたので、今冬ガンガン山に登り力をつけていきたいです。天候にも恵まれ最高の合宿、山行でした。ありがとうございました。